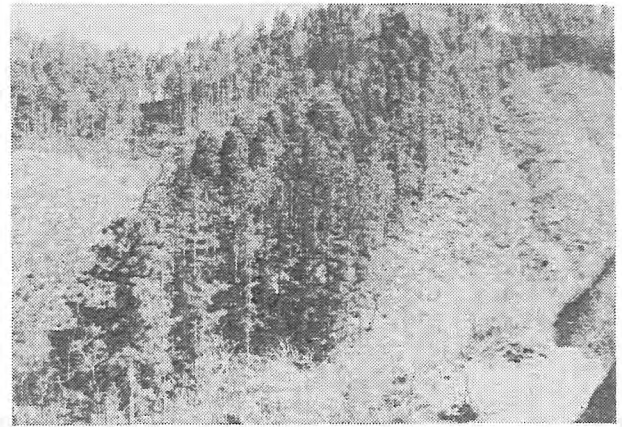


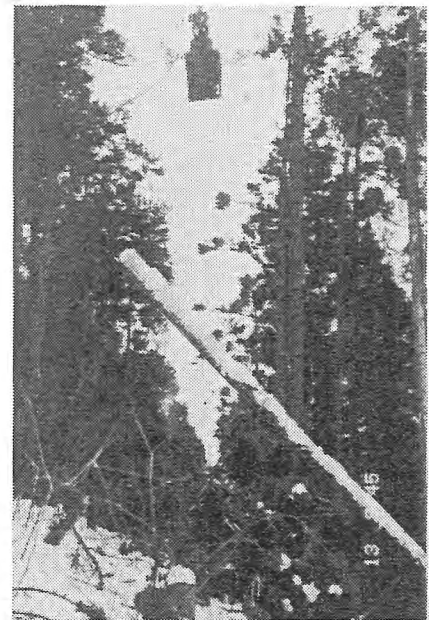
次に自走式リモコンキャレジのH-750 Bと、H-1300Dを使用した実行結果の対比であります。

(1) H-1300Dの実行箇所の生量は少ないが、主索の張り替えは先柱だけ3回移動しても、1日当たりの集材量は 19m^3 にアップされてた。



(写真-2保護樹帯実行箇所)

(2) 功程をみてもH-1300Dが、3線とも集材量がアップしている。



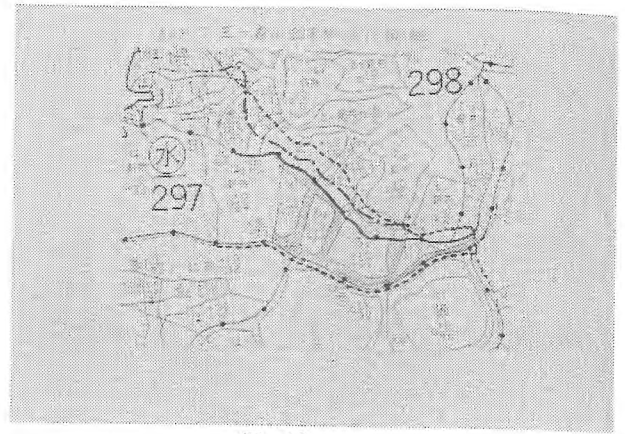
(写真-3全幹集材)

図-1 の箇所は、当初計画でモノケーブル式実行箇所であったが、図でわかるように峰筋にトラクタを入れることによって1架線で可能と判断し実行した。

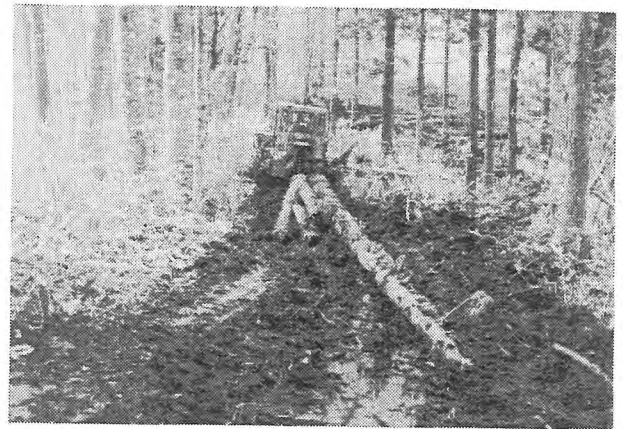
実行方法としては、

(1) T字形の保護樹帯のため1架線では難しいと判断し、峰筋をトラクタで架線下まで集積する方法を取った。

(写真-5. 6)



(図-1)



(写真-5トラクタ集材)



(写真-6トラクタ集材)

(2) 78年生のスギ人工林のため大径木については半幹にして集材した。

(写真-7. 8)



(写真-7スカイキャリ-集材)



(写真-8スカイキャリ-集材)

(3) 表-3 はモノケーブル式実行結果と、H-1300Dとトラクタ併用箇所です。

この表を見ても明らかなように、副作業が大幅に減少されたことがわかります。

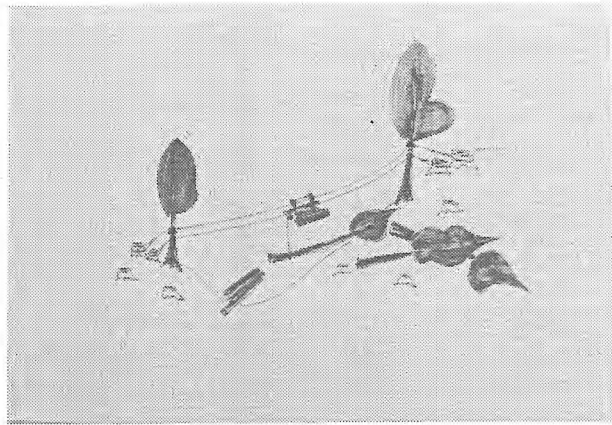
項目	モノケーブル式	H-1300D	トラクタ併用式
作業量	100%	100%	100%
作業時間	3.5時間	3.5時間	3.5時間
副作業時間	2.1時間	2.1時間	2.1時間
主作業時間	1.4時間	1.4時間	1.4時間
副作業率	60%	60%	60%
主作業率	40%	40%	40%
集材量	33.2材	33.2材	33.2材
集材率	4.2%	4.2%	4.2%

(表-3)

4. ヒバ天然林箇所の実行結果

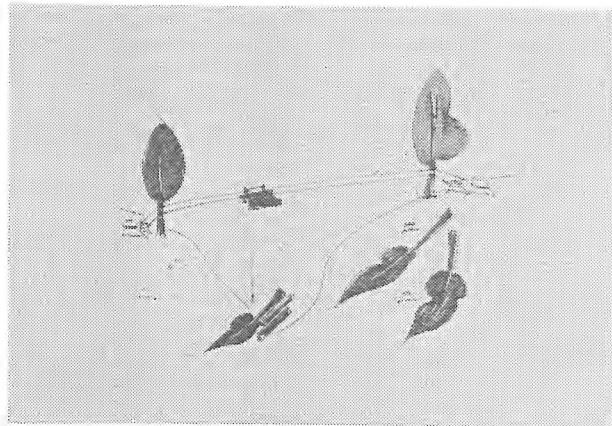
起きる。

- (2) 荷掛け場の高低差が大きい場合は乱巻きの原因となる。



(写真-10)

- (3) 機器が故障した場合、主索を下げて修理しなければいけない。



(写真-11)

6. おわりに

昨年に引き続き自走式リモコンキャレジH-1300Dの実行結果と、天然林箇所の実行について発表しましたが、H-750Bは主として造林木の間伐用として開発されたものであるが、今回H-1300Dを使用した結果をみると造林木の間伐だけでなく、天然木の択伐、間伐用にも威力を発揮する機器と



(写真-12)

思われます。

これまで当製品事業所の集材方法は、集材機・モノケーブル・ホイストリングキャレジ・トラクタ等を活用し、その地形にあった作業仕組みの中で集材を実行してきました。

今回発表の自走式リモコンキャレジは、これまでの機種と違い、安全で安心して作業ができると思います。

以上、自走式リモコンキャレジについて発表いたしましたが、これからも集材作業の省力化、集材技術の向上等を図って行くことが今後の課題ではないかと思っています。

以上